



市長 大久保 博

千葉県

市川市



誰もが個々の能力を生かしながら健やかに、
生き生きと暮らせる「健康都市いちかわ」
を目指しています。

【データ】

- 人口 : 479,971人
- 世帯数 : 235,171世帯
※平成28年5月31日現在
- 特産物 : 梨・海苔
- 主なイベント:
ツデーマーチ (4月)
市川市民納涼花火大会(8月)
市川市民まつり(11月)

●市川市の紹介

市川市は、千葉県の西部、江戸川を隔てて東京都と相対する千葉県の玄関口です。都心から 20 km 圏内に位置し、住宅都市として発展してきました。都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網の集中する位置にあり、JR 総武線、武蔵野線、京葉線、東京メトロ東西線、都営地下鉄新宿線、京成線、北総線の駅が合わせて 16 駅あります。また、京葉道路、国道 14 号などの道路網が発達しています。

交通アクセスの良さから、首都圏のベッドタウンとなっておりますが、北部には梨栽培など農業が盛んな地域があります。また、古くは八幡・菅野地区は高級住宅街として栄え、屋敷街を形成しています。付近には学園が多く、文教都市としての特徴も備えています。南部は、東京湾に臨み、京葉工業地帯の一翼を担っているとともに、新しい都会的な住宅都市が形成されています。また、海苔の産地としても知られています。

●市川市のみどころ



市川市は梨の特産地！

千葉県は全国一の梨生産地であり、中でも市川市は、トップクラスの梨の産地です。梨栽培の歴史は古く、200 年程の歴史があると言われており、平成 19 年 8 月には、その知名度や歴史などが総合的に評価され、地域ブランド『市川の梨』は特許庁の地域団体商標制度に商標登録されました。



地域の人々に愛される市川市動植物園 ♥

人気者のレッサーパンダやコツメカワウソなど約 60 種 450 点の動物を飼育、展示しています。注目は、コツメカワウソたちが“ウォーターライダー” 状のすべり台で遊んで滑り降りる様子を、“流しそうめん” にかけて展示した「流しかわウソ」コーナーです。平成 25 年に「流しかわウソ」はインターネットで大ブレイクしました。





市川市を華やかに彩る里見公園☆

江戸川の景観と桜の名所として知られています。噴水や花壇を配した西洋庭園や北原白秋の旧宅「紫烟草舎」、国府台城跡など、見どころが満載です。なかでも、西洋庭園の中にあるバラ園は、97種 806株（平成28年2月26日現在）のバラの花が咲き誇り、公園内は多くの人で賑わいます。



●健康都市に向けた取り組み

1. 市川市健康都市推進講座

市川市健康都市推進講座は、健康に関心を持つ市民を増やし、健康都市の考え方を地域に普及することを目的として、和洋女子大学の協力のもと、平成17年から開催しています。

この講座では、人の健康づくりのために運動や食についての知識を身につけ、また、人を取り巻く環境づくりのために市川の産業や文化、まちの環境などについて幅広く学びます。

2. 市川市健康都市推進員

市川市健康都市推進員は、行政と協働で健康都市を推進するため、地域の健康づくりのリーダーとして活動しています。主な活動は、市民の健康の保持増進に関することについての正しい知識の啓発や情報の提供、環境美化運動、地域福祉活動などです。

また、グループ活動のほか、自主的に任意団体を立ち上げて地域に密着した活動を展開したり、個人で様々なボランティア活動に参加している方もいます。

グループ活動

地域での健康づくり活動を充実させていくために、地域でグループ分けをし、各グループで企画から運営を含め、市民の健康づくりを推進するための活動を実施しています。（現在は4つのグループで活動しています。）

【昨年度の活動実績】

●ウォーキングイベント



●ミニ運動会の開催



●回想法研修会



定例会

毎月一回、定例会を実施し、地域の健康づくりのリーダーに必要な知識を身につけるための研修会や各グループが主催する地域イベントの計画・報告を行っています。